

平成 21 年 10 月 26 日

各位

『 F F G 調査月報 11 月号 』 発行について

経済調査誌『 F F G 調査月報 11 月号 』を発行いたしましたのでお知らせいたします。
今月のメインレポートは、地域経済調査「福岡県における自動車産業への参入支援の取組み」です。

なお、 F F G 調査月報はふくおかフィナンシャルグループ(福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行)の営業店の窓口配置しております。

【メインレポート】

地域経済調査 福岡県における自動車産業への参入支援の取組み ～ 「自動車産業参入アドバイザー」事業～

地域の産業振興を図るために、国や自治体では様々な地元企業支援の取組みが行われています。そのなかでも、福岡県の「自動車産業参入アドバイザー」事業は、地元製造業者への徹底した生産工程改善指導に始まり、自動車部品メーカーへの橋渡しまでを継続的に支援するという、全国に先駆けた画期的な取組みとして注目されています。このレポートでは、創設3年目を迎え、着実な成果を挙げている「自動車産業参入アドバイザー」の取組みをご紹介します。

トップに聞く

F F G 3 行の代表者がお取引先企業を訪問する「トップに聞く」(3行頭取の企業訪問)のコーナーです。

今月はお取引先企業2社を訪問し、経営者の皆様から興味深いお話をいただきました。

田中 敬二 氏 (福岡造船 株式会社 代表取締役社長)

当社が建造している「ケミカルタンカー」は、ナフサ、硫酸といった油精製物や化学薬品を専門に運ぶ専用船であり、さびにくいステンレスを多く使用することから建造には高度な技術が必要とされています。足元の「海運市場」は変調をきたしているものの、中国などでの石油精製品の取扱いの増加を追い風として、当社が切り拓いた「ケミカルタンカー」の需要は今後も伸びていくことが期待されます。

松石 六雄 氏 (松石電設工業 株式会社 代表取締役)

船舶の電気艦装で培われた技術をベースに防衛機器関連分野へ進出し、そこで築いてきた信頼関係や実績により、当社は太陽電池というこれからの時代をリードする分野への参入を果たしました。これからは、これら2つの事業分野を更に維持・発展させつつ、太陽光発電分野を“太陽熱”も含めた“ソーラ・テクノロジー”分野として位置付け、積極的な取組を始めています。

経営情報

中小企業による市場の創造と開拓～2009年中小企業白書より～

今年発刊された「2009年版中小企業白書」では、中小企業の業況が一段と悪化し厳しい状況となった2008年度の動向とともに、この状況を乗り越えていくための視点として、イノベーションと人材の確保を採り上げ分析を行っています。このレポートでは白書の第2章において展開されている、「中小企業のイノベーション」と「中小企業の市場戦略」について、ポイントをピックアップしてご紹介します。

しーず君の研究室訪問

「佐世保工業高等専門学校 電気電子工学科 川崎仁晴^{ひろはる} 教授」 未来の光“プラズマ”が拓く最先端技術

大型ディスプレイの普及で有名になった“プラズマ”は、元々、ほぼ同数の高密度な正イオンと電子（負イオン）が、安定して存在している高活性状態のことで、自然界では、雷やオーロラなど特徴的な光を伴う現象として知られています。この“プラズマ”は、核融合発電や太陽光発電などのエネルギー分野、LSI等の超微細加工、殺菌や環境浄化などにも利用されており、様々な活用が可能です。

海外レポート

「大連での日本酒の販売事情」

日本酒の対中国輸出については、絶対的な数量ではまだ多いとは言えないものの、ここ5年で約2倍（2004年の240kl 2008年の482kl）と急激な伸びを見せており、今後もマーケット拡大が展望できる状況です。今回のレポートでは、大連で多くの中国人からも支持を得ている日本の食文化である「日本酒」にスポットをあて、そのマーケットについてご紹介します。

海外トピックス

「中国で人民元による国際貿易決済が始動」

2009年7月に中国人民銀行が「クロスボーダー貿易人民元決済試行管理弁法」を公布し、人民元での国際貿易決済が試行的にスタートしました。導入の背景や、その概要についてレポートします。

<<本件に関する問い合わせ先>>

株式会社 FFG ビジネスコンサルティング 企画調査部（担当）島浦、真田

電話：092-723-2576 FAX：092-761-8846